

# Book Review



## スケーリングの基礎力アップ！ DH トレーニングドリル

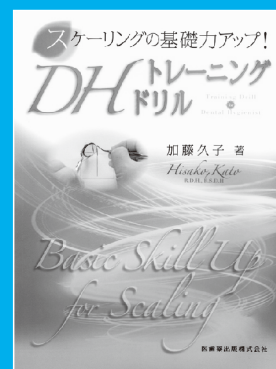
加藤久子 著



Reviewer

弘岡秀明 Hideaki Hirooka  
(東京都・スウェーデンデンタルセンター)

A4 判変, 88 頁  
定価 3,150 円  
(本体 3,000 円+税 5%)  
医歯薬出版刊



歯周病は歯牙に付着した細菌性プラーク、いわゆるバイオフィルムによって引き起こされるある種の感染症である。歯周病治療の目標は、縁下のプラークを除去すると同時に、縁上のプラークをコントロールすることによって、歯周病の進行を止めることにある。縁上のプラークコントロールは、モチベーションされた患者自身、縁下のプラークコントロールは、術者にゆだねることとなる。

縁下のプラークの存在は、臨床的にはプロービングによるポケット底からの出血（BoP、ブリーディングオンプロービング）の有無で判断する。また、縁下のプラークを除去すること、いわゆるデブリッドメントによって、炎症はコントロールすることが可能だが、実際は縁下歯石や根面のグルーブの問題があるので、スケーリング&ルートプレーニング（SRP）を行い、歯石を除去し、根面を滑沢化することが必要

となるケースがある。プロービングや SRP も見えない部分の根面にアタックすることになるため、日常臨床においては、実際の歯周病治療を担う歯科衛生士に、解剖学的形態の熟知、X 線写真を見ながら行う正確なプロービングおよび SRP などのスキルを要求することになる。

加藤久子先生は、私の古くからの友人であるとともに、アメリカで正式なトレーニングを受けられた数少ない日本人歯科衛生士の一人である。今までに多くの歯科衛生士を指導、教育している経験をもちあわせており、本書にはその経験を生かした気配りが随所に盛り込まれている。

各章はステップごとに目的がわかりやすく書かれており、内容についても一目でわかるよう、写真および図を多く用いて理解しやすくセットアップされている。歯の解剖学的形態、X 線写真の見方、プロービング方法、デンタ

ルミラーの使い方、手用スケーラーおよび超音波スケーラーの使用法まで、明日の臨床に直結するよう、基本から応用まで幅広くカバーされている。また、ドリル形式で自身の理解度をチェックしながら読みすすめる工夫がされているため、新卒の歯科衛生士の自主学習だけでなく、歯科医師やベテランの歯科衛生士でも自身で知識を再チェックすることが可能である。

実際にスキルアップのトレーニングに用いる道具も、日常の診療室にある物や、身近な物を使用して行うことができるよう工夫されている点は、本書の特徴でもある。トレーニングの達成度についても自分自身でチェックできるようになっているので、一人でトレーニングする際にも反復練習することができる好書である。本書を十分に活用し、歯周病治療に携わる歯科医師・歯科衛生士のスキルアップの一助になれば、著者の望むところであろう。